

## 平成29年度 第1回 岡山県医療対策協議会【議事要旨】

1 日 時：平成30年2月2日（金）15：30～16：50

2 場 所：メルパルク岡山 3階 「錦」

3 出席者：別紙のとおり

### 4 議題

- (1) 平成30年4月から地域勤務を開始する地域卒卒業医師の勤務病院の決定について
- (2) 第8次岡山県保健医療計画に基づく地域卒卒業医師の配置方針の検討について

### 5 その他

- (1) 新たな専門医制度における平成30年度専攻医一次登録領域別都道府県別採用数について
- (2) 医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会 第2次中間取りまとめについて

### 6 議事要旨

- (1) 平成30年4月から地域勤務を開始する地域卒卒業医師の勤務病院の決定について  
事務局から、平成30年4月から地域勤務を開始する地域卒卒業医師3人の勤務病院の決定と、その決定手続きについて、医療対策協議会で承認された方法（①県北の3保健医療圏の病院に配置する。②総合評価上位の病院から、地域勤務を希望する地域卒卒業医師の2倍程度の数の病院を候補とする。③医師と病院との希望を踏まえたマッチングにより決定する。）により決定したことの説明があった。

なお、委員からは、次のような意見があった。

- ・ 今回の結果について、候補病院の評価方法を検証する必要があるのではないかと。また、最高得点を得ながら配置されなかった病院があることについて、今後、評価方法の見直しが必要ではないかと。

- (2) 第8次岡山県保健医療計画に基づく地域卒卒業医師の配置方針の検討について

事務局から、平成30年度から平成35年度を計画期間とする第8次岡山県保健医療計画素案において、パブリックコメントを踏まえた上で、地域卒医師を配置する保健医療圏について検討していくことと、県内の医師の診療科偏在の是正について検討していくことを記載した旨の報告があり、それに基づいて、今後の方向性について協議を行った。

今後の地域卒卒業医師の配置方法の検討と、診療科偏在の是正に向けたデータの分析は、地域医療支援センターで実施することとし、今回の議論を踏まえた上で、5月末か6月上旬頃に開催予定の次回の協議会に事務局案を提示することとなった。

なお、委員からは、次のような意見があった。

- ・ 医師不足は、基本的には保健医療圏単位で検討するものであるが、例えば、井笠地域など、地域の実情に応じて柔軟に地域卒卒業医師の配置を検討してほしい。

- ・ 選択研修終了後の地域勤務に当たって行う病院の評価は、現在の評価方法ではなく、本当に困っている医療施設に配置できるように工夫する必要がある。
- ・ 専門医研修プログラムについて、今後、県として、地域医療確保の観点から、プログラムの運用状況を把握していく必要があるのではないか。
- ・ 専門医の資格の取得後に地域勤務を行うことも検討するようだが、現実的には、専門医の資格を取得するには7、8年は必要であると思われることから、もう少しフレキシブルなキャリア形成プログラムが必要ではないか。
- ・ 地域枠学生が、将来どの診療科を志望しているのかが把握できれば、配置計画が立てやすいのではないか。
- ・ 一人でも医師が減れば、人口当たりの医師数に影響があることから、医師の年齢分布も考慮する必要がある。

(3) 新たな専門医制度における平成30年度専攻医一次登録領域別都道府県別採用数について

事務局から、本県には比較的多くの専攻医が登録されたとの報告があった。

※ 特に意見なし

(4) 医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会 第2次中間取りまとめについて

事務局から、国はさらなる医師の偏在是正を目指し、都道府県における医師確保対策の実施体制を強化するために、医師確保計画の策定について医療計画に記載することを法律上に明記すること、また、医療対策協議会の実効性を確保するため、構成員や議題が重複すると考えられる医師確保対策の推進に関するその他の会議体（例：地域医療支援センター運営委員会、へき地医療支援機構運営委員会など）の機能を医療対策協議会に移管することなどを主旨とした医療法と医師法の改正を目指していることの報告があった。

なお、委員からは、次のような意見があった。

- ・ 医師の偏在は大きな問題であり、地域枠だけで解決することは不可能であると考えている。岡山大学病院、川崎医科大学附属病院の他、倉敷中央病院を始めとする規模の大きい病院の先生方を始め、それぞれの立場でよく考えていただきたい。

以 上